

<p>科目名：歯科診療補助論Ⅱ-1</p>	<p>必</p>	<p>1 単位</p>
<p>(Assisting for Dental Practice Ⅱ-1)</p>		
<p>履修年次/時期：1 年次 前期 授業形態：演習</p>		
<p>担当教員：関端麻美（実務経験有） 片岡あい子（実務経験有）</p>		
<p>学修目的</p>	<p>「歯科診療補助」は歯科衛生士の主要な業務の1つである。歯科診療補助論Ⅱ-1 およびⅡ-2 で基礎的技術を学修し、基礎的理論は歯科診療補助論Ⅲで学修する。歯科材料と器具の取り扱いについて、基礎的理論と基礎的技術を理解し、歯科診療が円滑に進められるよう診療補助・介助法を学び、臨床に対応できる診療補助法を修得する。</p> <p>DP：1(2),2(1)(2)(3),3(1)(3) CP：2,3,4,5,6 に関連する。科目 No.：S1C12H27</p>	
<p>到達目標</p>	<p>1. 各種材料の取り扱いを学び、歯科診療の補助・介助ができる。</p> <p>2. 各種器具の取り扱いを学び、歯科診療の補助・介助ができる。</p>	
<p>授業概要</p>	<p>歯科診療の補助、介助を責任もって行うために材料および器具の取り扱いについて学ぶ。</p> <p>歯科診療に必要な材料や器具の種類は数多くある。それぞれの特徴を理解し適切に取り扱うことによって診療がスムーズに行われる。歯科診療で頻用される材料や器具の取り扱いについて実習する。項目によって異なるが、数回ずつ模型を使用して実習し技術を修得する。</p>	
<p>評価方法</p>	<p>1. 筆記試験（80%）</p> <p>2. レポート提出、ループリック、実習参加度、実技など（20%）</p> <p>以上を総合評価し、単位認定を行う。</p> <p>フィードバックの方法</p> <p>筆記試験：掲示で行う</p> <p>レポート・実技：個別に行う</p>	
<p>予習・ 復習時間</p>	<p>【予習】0.2 時間</p> <p>【復習】0.2 時間</p>	
<p>教科書</p>	<p>A：最新歯科衛生士教本「歯科診療補助論第2版」 松井恭平 他編 医歯薬出版株式会社</p> <p>B：最新歯科衛生士教本「歯科材料」 松井恭平 他編 医歯薬出版株式会社</p> <p>C：最新歯科衛生士教本「歯科機器」 松井恭平 他編 医歯薬出版株式会社</p>	
<p>参考書</p>	<p>臨床科目の教科書</p> <p>図書館に関連図書が多く揃っているので参考にしてください。</p> <p>随時紹介します。</p>	
<p>問い合わせ 連絡先</p>	<p>関端：月～金 16：40～17：00 sekibata@kdu.ac.jp 教員研究室 3号館2F</p> <p>片岡：月～金 16：40～17：00 kataoka@kdu.ac.jp 片岡研究室 3号館2F</p> <p>*不在時はメールにて連絡をください。</p>	